

# 実践ライブラリー：中学部 数学科 「お買い物をしよう」

計算は苦手、字を書くのもすきじゃない。  
なりきって楽しむのは好き  
お金は大切、買い物ができるようになりたい。

買い物のやりとりを楽しんでほしい。  
具体的な操作を通してお金の計算に  
親んでほしい。

## ① 第一次・駄菓子屋さんに行こう

使う硬貨は10円玉に限定し、実際の駄菓子を並べて  
お店屋さんごっこをした。

最初は、予算を意識せず、  
好きなものを適当にカゴ  
に入れていた生徒も、  
10円玉と駄菓子を対応  
させると、お金が足りない  
ことに気づき、商品を戻したり、  
商品を変更したりして  
買い物することができた。



3桁や4桁の加減ができる生徒には、電子マネーでの  
支払いをOKにし、チャージ額(500円や1000円)から、  
買った駄菓子の合計を引く計算などにもチャレンジした。

最後に、レシートを作ろうということで、購入した商品の  
合計をプリントに書けるようにした。



### おすすめ ポイント

商品はできる限り  
本物で。生徒  
のやる気が一気  
にUP!

## ② 第二次・激安スーパーによろこ

駄菓子屋さんがスーパーにリニューアルオープンする  
という設定で行った。まず、どんな商品が並んでいると  
うれしいかリサーチ。ジュースやお菓子など、リクエストが  
あった品ぞろえにして、開店準備の価格設定を一緒に  
行った。駄菓子屋の値段が生徒たちの実態にあっ  
ていたので、『激安スーパー』  
というコンセプトで、「コーラが  
20円」、「とんがりコーン30円」  
など生徒が決めていった。

開店してからは、生徒にも  
アルバイトとして、品出しや、レジ  
打ちの役割もしてもらいながら  
やりとりを楽しみつつ、お金の  
計算に取り組んだ。中には、強  
盗ごっこを楽しんでから全商品  
を買う生徒も現れたため、その生徒  
は電子マネーでの支払いにする  
などして、生徒の実態に応じた  
計算に取り組めた。



### おすすめ ポイント

お財布はミニホウ  
イットボードにして、  
硬貨を貼り付けた。  
何枚あるかが一目  
瞭然に。